

財政福祉委員会(9月7日) 山口清明議員

「上飯田連絡線に敬老パスを」の請願が「財勘採択」

9月2日の市議会財政福祉委員会で「上飯田連絡線における敬老パス利用範囲の適正化を求める請願」が審査されました。

社会参加促進が敬老パスの目的

山口清明議員は「上飯田線の開通で一部バス路線が廃止され、名鉄が運行しているからと敬老パスが使えなくなった。通勤者は便利になったが高齢者は困っている」と主張しました。

東味鋺地域の人など1280名も要望署名を提出

、山口議員は「東味鋺地域の人からも1千人以上の要望書が出されている。高齢者の社会参加の促進から

も採択すべきだ。他都市の多くが市営交通にこだわっていない」と採択を求めました。

減税は「敬老パスは世代間不公平」を主張

自民・公明・民主の議員も「地域間格差がある。守山区は以前、名鉄の無料券が出ていた。高齢者の社会参加促進ができるような工夫や検討をすべき」と採択を求めました。

減税日本の議員は「高齢者が増えると若い人の負担になり世代間の不公平が拡大する」「住む場所で不公平なので、ここは認めるが、他への波及は心配」と発言しました。

請願は全会一致で「財勘採択」となりました。

財政福祉委員会(2011年9月7日)での請願審査の結果

請願名	請願者	結果	備考
上飯田連絡線における敬老パス利用範囲の適正化を求める請願	上飯田連絡線の利用促進を 考える味鋺学区住民の会	財勘 採択	東味鋺地区の住民1280名からも8 月に同趣旨の請願がでています。

名古屋市の 看護職員 確保対策

需給率94%なのに「民間の看護学校で充分」 中央看護学校は養成から再就職や離職防止中心に

7日の財政福祉委員会では名古屋市の看護職員確保対策が報告されました。名古屋市の中央看護専門学校(全日制60人、昼間定時制60人、助産学科15人)を、「看護職員の養成」から潜在看護職員の復職支援や定着促進・離職防止」へシフトするというものです。大学など民間の看護職員養成施設が2007年から2011年で15校が18校に、定員も1047人から1317人に増えたからです。しかし、2011年度の看護職員の需給見通しは全国が96%なのに愛知県は94%(名古屋市はわからない)となっており、今後5年間で98.

看護職員の需給見通し(2010年12月 厚労省策定。常勤換算の充足率)

区分	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
全国	96.0%	96.4%	97.1%	98.0%	99.0%
愛知県	94.0%	95.0%	96.3%	97.8%	98.9%

9%に改善する見込みといっています。

山口議員は、「そもそも100%以上になっていないのに養成を減らす発想がおかしい。就職支援や離職防止も大事だが、夜勤が続くなどの労働条件の改善促進が重要。中央看護学校への市内医療機関の期待は高い」と意見を述べました。

市政懇談会で市民から意見を聞きました 9月6日 日本共産党市議団

9月6日夜、日本共産党名古屋市議団は都市センターで高齢の市政懇談会を開催し、名古屋市の事業仕分けや市民税減税、災害対策、保育所問題、要援護者の災害時避難対策などについて4人の議員が報告、会場からは10人の方が意見を述べました。



請願の第1次締め切りは9月30日